

用語解説

人文・社会科学編

■ インクルーシブ教育

子どもの能力、言語、ジェンダー、人種、あるいは出身階級にかかわらず、すべての学習スタイルや生徒に柔軟に対応していけるような学級づくりを目指す¹⁾教育。インクルーシブ教育という用語が世界的に流布するようになったのは、1994年のユネスコによる「サラマンカ宣言（声明）」以降である²⁾。

■ アンケート調査

調査のうち、個人または集団を対象として、調査票（質問紙）を用いて投げかけた質問への回答を得ることによってデータを収集し、特定の集団の意識や行動を主に計量的に測定するための手法。学術的な著作物では「質問紙調査」と呼ばれることが多い。

■ インタビュー調査

調査のうち、個人または集団に対して、直接質問を投げかけて回答を得ることによりデータを収集する手法。「聞き取り調査」とも呼ばれる。質問項目や回答のための選択肢があらかじめ決められている場合もあれば、生活史の聞き取りのように事前に質問項目はほとんど用意されていない場合もある。最もよく用いられるのは、ある程度質問項目を用意しておくが、その場の状況に応じて臨機応変に質問項目を変えたり追加したりするやり方である。

■ 「一番大切なことは単に生きることではなく 善く生きることである」

古代ギリシャの哲学者ソクラテスが、不敬神と若者を墮落させる罪で有罪と死刑の判決を受けた際に脱獄を勧める友に言ったとされる言葉。正しくは、「一番大切なことは単に生きることではなく、善く生きることである……よく生きることと、美しく生きることと、正しく生きるとは同じだ」（『ソクラテスの弁明 クリトン』プラトン著、久保勉訳、岩波文庫）である。劇中では「ソクラテスの言葉」として紹介しているが、厳密には「ソクラテスが言ったとされる言葉」。

第6期科学技術・イノベーション計画では、well-being という単語が用いられ、「一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」のように表現されている。

■ フィールド調査/フィールドワーク

直接的な観察を中心として、インタビュー調査やアンケート調査、ドキュメント分析などのさまざまな手法を総合的に用いて行う現地調査のこと。調査者が現地に赴いてその場で起きていることを実際に見たり聞いたりすることでリアルタイムに状況を把握できる点に特長がある。現地で行われている活動に実際に参加しつつ観察を行う場合もある。

■ 二重投稿 (duplicate submission)

他の学術誌等に既発表又は投稿中の論文と本質的に同じ論文を投稿すること³⁾。狭義では、同じ原稿を二つ(もしくはそれ以上)の雑誌に同時に投稿すること⁴⁾を指すが、本教材ドラマでは広義の定義を用いている。

出典

- 1) フレッド・ペルカ：中村満紀男・二文字理明・岡田英己子監訳。障害者権利擁護運動事典。明石書店。2015, p. 183.
 - 2) 茂木俊彦編。特別支援教育大事典。旬報社。2010, p. 40.
 - 3) “研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン”。文部科学省。2014, https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/_icsFiles/afieldfile/2014/08/26/1351568_02_1.pdf, (参照 2024-02-09)。
 - 4) “二重投稿・二重出版に関する判断基準と取り扱い”。日本小児科学会。2021, https://www.jpeds.or.jp/modules/publications/index.php?content_id=72, (参照 2024-02-09)。
-